

議会だより

かみやま

第 20 号

2014. 2. 14

12月定例会



えびすまつり (神領字大埜地 腰之宮神社)

新体制が決まる

昨年十二月に開催された平成二十五年十二月定例議会において、議長・副議長・常任委員の議会構成が決まりました。

町長提案の議選監査委員は満場一致で榎本雄一議員に決まる。それぞれの役員の任期は、条例及び議会申し合わせによる二年としている。

議長に **相原 浩志氏**

副議長に

高橋 和男氏

議選監査委員に

榎本 雄一氏



相原 浩志氏



高橋 和男氏



榎本 雄一氏

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

今年一年が町民の皆様方にとりまして素晴らしい年になりますことをお祈り申し上げます。

さて昨年の十二月定例議会におきまして議員各位のご推挙をいただきまして、神山町議会議長に就任致しました。まことに身に余る光栄でございます。

過疎化、少子高齢化が進む中、全国から注目をされている、NPO 法人グリーンバレー事業等により人口減少にすこし歯止めがかかり、定住者も増え町の明るさが見えてきたのではないかと感じます。

しかし農林業の振興、巨大地震等に対する対応、教育環境や高齢化社会に向けた対応等々課題は山積しております。

こうした状況を踏まえ、私達も何が必要かを確に判断し、執行機関と十分な意思疎通を図りながらその任を果たしてまいりたいと思っております。

微力ではございますが皆様方のご指導、ご協力をお願い申し上げ、就任のあいさつと致します。

神山町議会議長 **相原 浩志**

新しい議会構成

議長	相原 浩志
副議長	高橋 和男

常任委員会	総務 <small>町政全般の総合的な計画などの調査研究、他に属さない事項についての審査を行います。</small>	委員長	細井 成富	委員	坂口 一之
		副委員長	五島 準介	委員	木元 史幸
	産業建設 <small>農林水産振興、観光振興、道路などの産業振興に関する事項についての調査研究及び審査を行います。</small>	委員長	樫本 雄一	委員	森 彦富
		副委員長	山本 充良	委員	高橋 和男
	厚生文教 <small>保険、医療、福祉、教育、文化などの振興に関する事項の調査研究及び審査を行います。</small>	委員長	西崎 哲夫	委員	河口 榮祐
		副委員長	森本 吉治	委員	相原 浩志

特別委員会	幹線道路改良整備 <small>幹線道路の改良と整備促進を図るための委員会</small>	委員長	山本 充良	委員	樫本 雄一
		副委員長	相原 浩志	委員	細井 成富
	国道改良整備促進 <small>神山町内にある国道の改良と整備促進を図るための委員会</small>	委員長	高橋 和男	委員	森 彦富
		副委員長	西崎 哲夫	委員	山本 充良
	環境整備対策 <small>環境に関する整備対策を図るための委員会</small>	委員長	坂口 一之	委員	木元 史幸
		副委員長	五島 準介	委員	相原 浩志
	議会広報調査 <small>議会の広報に関する調査及び議会広報の発行を行うための委員会</small>	委員長	森本 吉治	委員	樫本 雄一
		副委員長	五島 準介	委員	相原 浩志
			委員	高橋 和男	

監査委員	樫本 雄一
------	-------

名西消防組合議員	山本 充良 西崎 哲夫 樫本 雄一 高橋 和男 細井 成富
----------	---

12月定例会

12月定例会は、平成25年12月10日から20日まで11日間の会期で開催した。提出議案は、補正予算4件、条例の一部改正9件、指定管理者の指定3件、町道路線の認定1件、町道路線の変更1件、定住自立圏形成協定の一部変更1件、監査委員の選任1件、計20件、いずれも原案どおり可決、同意した。

議会からは、正・副議長選挙に関する件、常任委員会委員改選、特別委員会委員の一部改選など提案し、すべて選任、承認された。

一般質問では2議員が登壇し(6～7ページに掲載)それぞれ町の考えを質問した。

平成25年度
12月補正予算

一般会計補正予算並びに、2特別会計補正予算が提案され総額で6511万円が追加された。

一般会計補正予算は、主に子ども子育て支援事業システム構築委託料、地域活力促進事業補助金などで、国民健康保健特別会計は退職被保険者等療養給付費などとなっている。

一般会計	45億5195万円(4072万円)
国民健康保健特別会計	10億1410万円(2081万円)
簡易水道事業特別会計	2億9972万円(358万円)

(左は予算総額、()内は12月補正額)

主な内容

子ども子育て支援事業システム構築委託料	980万円
地域活力促進事業補助金	772万円
とくしま明日の農林水産業づくり事業補助金	543万円
県単急傾斜地崩壊対策工事	460万円
単独災害復旧工事	250万円
(国保)退職被保険者等療養給付費	1,700万円

町長からの行政等の報告

■この度消防功労で吉田一彦氏、武市佐市氏、教育功労で大井敏之氏が叙勲を受けられたことの祝意を述べた。

■南海トラフ巨大地震の被害想定拡大に対し町の防災計画の見直し、また減災への対応に取り組んでいる。

■26年度の地方交付税の見直しについては、消費税増税による消費の落ち込みによる税収の減が懸念され厳しい財政運営が予想される。

■歳出については老朽化した水道施設の改修、防災対策、定住対策などで多額の投資が必要と見込まれる中、健全財政の確立を念頭におきながら積極的な予算計上に取り組みたい。また28年1月から始まるマイナンバー制度の導入に伴い多額の経費も予想される。

■耕作放棄地が町内で増加しているが、水田等を受委託耕作し

ている農業事業体に農機具購入

に係る費用の助成制度が県より

地域活力促進事業補助金として

創設された。

■定住自立圏協定の一部変更に

より就学前の幼児の急な病気に

より保育所では受け入れにくい

場合、病院で預かって治療して

くれる施設の利用を圏域の市町

村の間で相互利用出来るよう拡

大することとなった。

■次に指定管理者の指定につい

ては昨年9月から事業者の公募

を行い11月に選定委員会を実施

し決定したので今議会において

審議願いたい。

諸報告

○平成25年9、10、11月分の例

月出納検査報告

監査委員から一般会計及び特

別会計に属する出納状況を出納

機関の諸帳簿、指定金融機関提

出の収支日計表、証憑書類と照

合した結果、過誤のないことを

確認したことの報告があった。

○定例監査結果の報告

監査委員から本庁内全課及び

出先機関、学校の事務処理の方

法の適否、財産管理と物品の管

理状況及び予算の執行状況の監

査結果について、次のような報

告があった。

予算の執行が年度末に集中し

ないよう適正な執行に努めるこ

と。備品の管理について、再度

台帳との確認を行い、適正な管

理に努めること。公用車の適正

な管理に努めることなどを指摘

した報告があった。

○財政援助団体等監査結果の報告

監査委員から各団体とも補助

金や委託金については、適正な

執行が出来ており、指定管理に

ついても適正な施設管理や運営

も行われているなどの報告が

あった。

議員発議案

○議員派遣

勝名地区議会議員研修会ほか

について、議員を派遣すること

に決定した。

○委員会の閉会中の継続調査

各常任委員会、特別委員会に

おける案件について、閉会中も

引き続き調査を行うと決定し

た。

条例制定・改廃等

○議案第68号 定住自立圏形成

協定の一部を変更する協定の

締結について

徳島市と子育て支援のため医

療機関を広域利用できるように

なる (賛成多数可決)

○議案第69号 神山町税条例の

一部改正について

税制度改正のため

(賛成多数可決)

○議案第70号 過疎地域の指定

に伴う町税の課税免除に関する

る条例の一部改正について

事業名の変更、文言の改正等

(賛成多数可決)

○議案第71号 災害弔慰金の支

給等に関する条例の一部改正

について

自然災害による弔慰金の支給

対象となる遺族の範囲の拡大

(賛成多数可決)

○議案第72号 神山町介護保険

条例の一部改正について

延滞金及び還付加算金の利率

の改正 (賛成多数可決)

○議案第73号 神山町後期高齢

者医療に関する条例の一部改

正について

延滞金等の見直し

(賛成多数可決)

○議案第74号 神山町簡易水道

事業給水条例の一部改正につ

いて

消費税改正に伴う料金改正

(賛成多数可決)

○議案第75号 神山町スクール

バスの運行及び管理に関する

条例の一部改正について



乗降場所の拡大等について

(賛成多数可決)

○議案第76号 神山町営住宅設

置及び管理に関する条例の一

部改正について

入居資格の改正 (配偶者暴力

防止法) に関する事柄

(賛成多数可決)

○議案第77号 神山町単独住宅

設置及び管理に関する条例の

一部改正について

入居資格の改正 (配偶者暴力

防止法) に関する事柄

(賛成多数可決)

○議案第78号 指定管理者の指

定について

神山町高齢者生産活動セン

ターを神山町社会福祉協議会に

指定 (賛成多数可決)

○議案第79号 指定管理者の指

定について

神山四季の里創造の森をN P

O 法人グリーンバレーに指定

(賛成多数可決)

○議案第80号 指定管理者の指

定について

神山温泉、道の駅「温泉の里

神山」、神山農村ふれあい公園

を株式会社 神山温泉に指定

(賛成多数可決)

○議案第81号 町道路線の認定

について

阿野字長瀬地区・阿野字代次

地区 (賛成多数可決)

○議案第82号 町道路線の変更

について

野間殿河内線・本名船底線

(賛成多数可決)

○議案第84号 神山町デジタル

防災行政無線施設整備工事

(第1期) 変更請負契約の締

結について

工事請負金額変更によるため

(賛成多数可決)

○議案第85号 平成25年度中央

簡易水道設備整備工事 (中央

配水池) 変更請負契約の締結

について

工事請負金額変更によるため

(賛成多数可決)

平成25年 名西消防組合議会

第2回 定例会

第2回定例組合議会は、平成25年12月24日に名西消防組合消防本部で開催した。

本定例会では、申し合わせ任期による正・副議長選挙があり、議長に山本充良議員(神山)、副議長に白川光夫議員(石井)が就任した。

理事者提出議案の平成24年度名西消防組合一般会計歳入歳出決算の認定、平成25年度名西消防組合一般会計補正予算(第2号)を審議し、いづれも原案どおり認定、可決した。

認定、可決した議案は次のとおりである。

○平成24年度名西消防組合一般会計歳入歳出決算

歳入総額 5億2360万円

歳出総額 5億1200万円

歳入歳出差引額 1160万円

○平成25年度名西消防組合一般会計補正予算

353万円を追加し、総額6億3426万円とした。

一般質問



坂口一之 議員

問 合併処理浄化槽共同設置について

町並の家屋の密集地の合併処理浄化槽について戸々の家庭では設置する土地がないので近くで用地を確保して共同で設置するなど対応が必要でないか?

答 町長 合併処理浄化槽の普及率は現在約37%に留まっている。

平成6年頃は年間45基設置されていたが現在は年間10基程度である。高齢化や後継者がいない、また用地がない等が要因であると思うが普及率向上に今後も努力していく。

共同設置については代表管理者や経費の分担等種々問題があ

ると思うが県当局と協議して取り組んでまいりたい。

問

2 南海トラフ巨大地震等について

30年以内に高い確率で起こるといわれているが、県の推計で神山町では巨大地震が起きれば500人余の避難者がでると予想されている集落が点在している。高齢者が多い等々きびしい現状中どういふ対策を考えているのか？

答

町長

神山町は県の予想では震度6強となっている。町では小学校4校は耐震化が完了している。町役場、広野公民館は耐震工事中であり上分公民館は耐震強度不足での建替中、神山消防署は完成している。国では東北震災後、国土強靱化基本法が成立したのでこれらを積極的に活用して、町指定の避難所の耐震化を図っていく。

総務課長

町では27箇所を避難所に指定

しており、計画的に耐震化を進めている。

備蓄は毛布や食料品や防災器具など取り揃えつつあるが、現在十分であるとは言えない。県有施設の利用や備蓄品整備の助成制度などについて県と協議をしながら進めていく。

個人の備蓄については従来3日間程度と言っていたが東北震災後1週間程度必要と言われている。住民への啓蒙を図り、自主防災組織の育成また個人住宅の耐震化等一層力を入れていく。

問

3 健康寿命について

健康寿命は全国で徳島県は男性37位、女性は45位と下位にあるが神山町の健康寿命はどれ位か？

答

町長

県平均は男性69・9歳、女性72・7歳と下位であるが神山町は男性73・7歳、女性82・2歳と全国平均より上回っている。町の健康づくり計画、夢、

元気、笑顔、健康かみやま21を策定し住民の健康対策を推進している。

健康福祉課長

健康づくりのため町役場だけでの取り組みでは十分ではないので、個人、家庭、地域、また職場での取り組みが重要であるとの考えで取り組んでいる。

具体的には検診を受ける、運動習慣を持つ、趣味や楽しみを持つ。

地域の行事や寄り合いに積極的参加、隣近所の交流を深める、等住民の意識改革を図る対策を推進していく。



木元 史幸 議員

問

1 災害対策について
来年度予算にどのよう
に反映するのか

答

総務課長

防災無線の2期工事、鬼籠野一ノ坂分校、鬼籠野生活改善センター、井ノ谷団地の耐震設計と耐震改修の予定である。

税務課長

防災対策に要する財源確保のため、個人住民税の引き上げ産業建設課長

上角配水池の新設、耐震管の布設の予定である。

問

2 防災訓練と改善点について

答

町長

リーダーの養成が課題である。

問

3 ヘリ発着場の整備について

答

町長

26年度に整備を予定している。



行政視察など報告

町村監査委員

全国研修会に参加して

平成25年10月8、9日、東京都メルパークホールに於いて第23回町村監査委員全国研修会があり議会議選出の木元監査委員と出席した。

研修に先立ち、平成25年町村監査員功労者表彰式があり、町村監査委員として7年以上在職し功労のあった86人（徳島県2人）、町村監査事務職員として10年以上在職し功労のあった7人（徳島県1人）計93人の功労者が表彰された。

引き続き研修があり主な概要は次のとおりである。

1、地方自治の展望と課題

まさに自治体間競争の時代であり、地域住民の信頼にいかに応えられる自治体作りを構想するかが何より

も必要である。

2、監査制度、監査委員の役割

・公正で効率的な行財政運営を確保するための監査、審査、検査の実施

・法令により定められた権限に基づき違法、不正の指摘にとどまらず、指導に重点を置き町村の行政の適法性、効率性、妥当性の確保を目指す。

3、効率的監査の執行と監査責任について

全国において、不正経理（例…架空取引に基づき業者に預け金を保有させ、後日これを利用して契約した物品と異なる物品を納入させる。いわゆる「預け」等）が指摘された。

これらの事により監査制度の見直しが求められ監査結果の信頼性を高めるため全国統一された監査基準を作成し監査委員の

専門性及び独立性を高めるため地方公共団体が県単位で監査を共同で行う組織を設立する案である。

以上

今回の研修を今後の監査に活かしたいと思う。

（橋本 稔）

第57回町村議会議長全国大会に参加して

議長が所要のため代理で議長全国大会に出席したので、その状況を報告する。

開会式は、安倍総理をはじめ衆参両院議長等の挨拶ほか、ほとんどの国会議員が入れ代わり立ち代わりと紹介されての開会式であった。

大会（第38回豪雪地帯町村議会議長会を併せて開催）は11月13日、東京NHKホールにおいて、昨年引き続き「真の分権社会の実現を目指して」をメインテーマに開催された。蓬清全



第57回町村議会議長全国大会

国町村議会議長（香川県直島町議会議長）が真の地方分権型社会の実現を目指すにあたって依然として残された課題があるとし、東日本大震災からの復興と大規模災害対策の確立、真の地方分権社会の実現、町村税財源の充実強化、道州制、TPPに関することなど議長会会長としての主張を行い、「町村議会でそれぞれの地域の自主、自立の精神を持って地域振興を図るため、議会自らの改革・活性化

に努め、住民の信託に充分応えられる議会とすべきである」との決意を述べた。

その後東日本大震災からの復興と大規模災害対策の確立など16の決議、道州制の導入に断固反対するなど5件の特別決議案が提案、決議された。また要望として、町村財政の強化など24案が提案決定され、各地区要望として「四国8の字ネットワーク」早期整備及び本州四国連絡道路における全国共通水準料金の確実な実現についてなど地域に課された24の要望も決議された。

大会終了後、「想定を超える災害にどう備えるか」と題し、片田敏孝群馬大学首都圏防災研究センター長による特別講演があった。激しさを増す自然災害。今の自治体防災の体制で、住民の命を守るのか？防災の基本は「人の死なない防災」巨大災害想定に正しく向かい合う社会の構築、行政依存を脱却

し、我がこと感のある防災を考える必要性があるなどの内容の講演を聴いた。

14日は県下16町村の議長等とともに午前中は、地元農家が自主運営する鎌倉野菜を販売し地産地消で成果を上げている鎌倉市農協連即売所を視察し、午後からは議会活動が活発な神奈川県大磯町議会において「議会活性化への取り組み」をテーマとして研修会をもち、議会基本条例の制定の経緯等についてを伺った。

3日目の15日は、静岡県小山市議会を訪れ、「議会活性化への取り組み、定住促進助成制度、台風災害における対応と教訓」をテーマとして視察研修を持った。

特に人口減少を抑制し、定住促進と地域の活性化を図るため「定住促進助成制度」を実施し転入する人や転居し、引き続き定住する人の住宅建設や借家の利用等を促進。また平成22年の

台風災害で、600ミリを超える雨量にもかかわらず、避難勧告等迅速適切な対応により、家屋の崩壊流出、道路の決壊、山腹崩壊等あったものの一人の犠牲者もなく最小限の被害で納まったことなどの話があり、本町においても今後参考となる話が聞けたことを研修の成果とするところであった。

(榎本雄一)

第54回四国地区町村議会議長会研修会に参加

四国地区町村議会議長会の主催により11月5日(火)愛媛県松前町で行われた。

日帰りの強行日程ながら勝名地区の議長6名全員の参加であった。松前町は愛媛県では一番人口の多い町で四国では藍住町(32,000人)について2番目であり、松山市のベッタウンとなっている。

さて午後1時より開会行事が



第54回四国地区町村議会議長会研修会

あり地元町長の挨拶、自治功勞者の表彰が行われたのち、マスコミにもよくでている、政治アナリストの伊藤惇夫氏より「安倍政権の課題と日本政治の行方」とのタイトルで講演が行われ「一強多弱の政治構造は何をもたらすか」「二大政党制は間違いであったのでは」「好調・安倍政権の背景にあるもの」今のマスコミは安倍総理に対し概して甘い。アベノミクスという言葉で国民に期待感をもたらした、

また政治家はいつも緊張感がなくてはならない。

3人の民主党総理について野田総理以外はダメ、菅総理は氣質、性格が悪い、総理になりたいたがためだけに総理になったとか、裏の面白い話も聞けた。

議員はあーこうしよう、あーしようと思いついたことは大学ノートに残しておく必要があるなど多岐にわたる面白い話があった90分であった。

(森本吉治)

監査委員特別 セミナーに参加して

平成25年11月5、6日千葉市市町村アカデミーに於いて平成25年第2回「監査委員特別セミナー」が開催され、議会選出の木元監査委員と出席した。

概要は次のとおりである。

1、監査機能の充実と強化につ

く

監査制度の見直しを検討

する背景や近年の議論の状況を把握しどのような監査をすべきか。監査に期待される役割は何か。これらを実現するためには何をどのように充実強化するかを考
えなければならない。

2、地方公営企業会計制度の見直し等について

見直しの一部として、事業・サービスの拡充が求められた時代に比べて、人口減少社会インフラ・更新・縮小時代へ転換する中で、経営革新や経営判断に必要な損益の認識・負債の把握等を確実に行う必要がある。

3、監査制度と監査委員の役割について

国において「地方公共団体の監査制度に関する研究会」が平成25年3月に報告書を取りまとめた。その方向性の一部について

1) 監査委員の専門性と独立性

(1) 監査委員の選任方法を議会で選挙するように改める。

(2) 議会で選挙することを含め、監査委員の選任方法の議論が必要である。

(3) 監査委員に必要な専門性が確保されていることを選任の要件とする。

(4) 監査委員の品質を確保するため、識見委員を2名以上を置き、4年間の任期をずらして交代する。

2) 監査事務局の専門性及び独立性

(1) 事務局職員に必要な専門性が確保されることを任命要件とする。

(2) 地方公共団体において監査事務局の共同設置の検討等である。

4、住民監査請求制度・住民訴訟制度の概要について

1) 監査請求前置主義
住民監査請求をして、その結果を待たなければ住民訴訟はできない。

2) 住民訴訟を提起する者
(原告)

当該地方公共団体であつて、住民監査請求をした者

3) 住民訴訟の対象
違法な財務会計の行為等に限定

4) 訴訟の法的性格
個人の権利、利益と関係なく、客観的な法秩序の維持を目的とする客観訴訟である民衆訴訟の一種

5、事例演習

住民監査請求制度に関する裁判例を取り上げグループ討議を実施し終了した。以上、今回の研修を今後の監査に生かしたい。

(橋本 稔)

国土交通省、財務省 への陳情について

11月7日議員11名、岩丸県議、後藤町長と共に国土交通省、財源確保のため財務省、継続事業である国道193号倉羅バイパス、「国道438号上分バイパス、主要地方道石井神山線阿野工区、同長代工区、神山鮎喰線南馬喰草工区」の早期完成のために道路予算の総額確保、予算配分に当たっての財政力の弱い自治体への重点配分の配慮等を陳情に出かけた。

13時より分刻みの中それぞれの省庁では担当部署を要望に上がり県出身の後藤田衆議院議員をはじめとする全議員の議員会館の事務所を訪れ要望活動への支援をお願いしてきたところである。

16時より農林水産省より日本の新エネルギーとなる風力発電、太陽光発電、水力発電、バイオマスエネルギーとあるなか

でバイオマスエネルギー産業都市構想について農林水産省バイオマス推進室の細川直樹氏らから説明を受けた。

バイオマス産業都市とは経済性が確保された一貫システムを構築し、地域の特色を生かした（間伐材・堆肥、生ゴミ、等）バイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまち、むらづくりを目指す地域。としてバイオマス産業都市構想に募集を募り、選定されると関係府省による連携支援（事業化支援）しようとするもので全国8市町



国土交通省への陳情

村が名乗りをあげ、四国では香川県三豊市が堆肥、食品残渣、竹を資源とした発電事業を試みようとしていた。

北海道別海町では牧畜が盛んなため、家畜排泄物、水産廃棄物によるバイオマス発電にチャレンジし共に1次選定地域に名乗りを上げた。

しかしこの自治体でも出来るのかとなるとある程度広域の場所から安定した再利用できる資源の確保が必要となるが、それが解決すれば地域循環型エネルギーとして注目されるであろう。（森本吉治）

岡山県「美咲町」での議員行政視察

情報通信基盤整備の推進と子育て支援に取り組む美咲町を視察して

美咲町の概要

美咲町は総面積232・15㎦で、県の総面積の3・3%を占



岡田副議長さん歓迎のご挨拶

めている、東部には吉井川、西部に旭川が流れ、最高峰の二上山「689」をはじめとする山間地となだらかな平坦地が続く標高50-690mの地形で、気候が穏やかな地域である。

人口 15、709人
世帯数 6、324戸

面積 232・15㎦

情報化計画策定と情報通信基盤整備（事業費33億9千500万円）

整備概要 本町支所にコアセンターを設置し、各地域の公共施

設にサブセンターを設置、光ファイバーによる伝送路で接続、高速・大容量のネットワークを構築

告知放送サービス

加入者宅に告知放送端末機を設置し、地域の行事やニュース街づくり情報や地域情報の共有を進め、住民・地域団体・企業等と知恵を出し合い、力を結集
まちづくりに取り組む災害発生などの緊急放送、一人暮らし高齢者世帯に確実な情報伝達、安心安全の生活基盤の均衡なる発展を図る。(毎月3回放送)



美咲町役場にて



情報通信基盤整備事業の説明

インターネット接続サービス

都市部との情報格差の是正、世代間格差の是正、生活環境の改善、産業振興の推進ができて情報通信基盤の町内全域における均衡ある発展を図る。

美咲町の子育て支援プラン

美咲町では次世代を担う子供たちを「まちの宝」と考え、子供を安心して生み育てる環境を整える事を第一としている。

出会い及び結婚期支援プラン

家賃の助成事業―婚姻届出後、1年未満の夫婦が町の認定



美咲町での行政視察

する住宅に入居した時、月額15,000円を上限として5年間支給する。

結婚推進事業―若い男女に出会いの場を提供する。

出産育児一時金支給 国保の

被保険者が出産した場合一人420,000円を支給

岡山県産材を70%以上使用した戸建て専用の木造住宅の県補助金と別に25万円加算する。

多子家庭の水道料金を助成する

3人以上の子供家庭で3人目以降の子供が義務教育を終了す

るまで水道の基本料金を助成する。

若者の定住促進のため奨励金

美咲町に居住し、新規学卒後に就職等し3年以上町内に留まる場合、奨励金を支給

美咲町に家を建てたい

町が整備した一戸建て住宅分譲地の購入者に補助金。定住促進住宅新築等補助金制度利用
この様に様々の制度を利用、物心両面で応援している。

(森 彦富)

広島県「世羅町」での議員行政視察

研修2日目の24日は広島県世羅町の世羅高原での研修であった。世羅町では町全体を広域農業公園とした町づくりを推進しており6次産業に力をいれている。その中で6次産業ネットワークが大きな役割を担っており6次産業をめざしている生産者、農協、福祉施設、高等学校、



甲山いきいき村



せら夢公園

法人等66団体が参加したネットワークを形成し様々な活動をしている。ネットワークのメリッ



6次産業の製造販売所

トとして連携によって他の施設や資材が利用できる、より高度な研修が合同で受けられる、お客様を共有でき連携して呼び込める、ブランド化しやすい、イメージが強化される、協力して大型イベントができる、協力してお客様を満足させることができる、マスコミに取り上げられやすい、お互いに情報交換ができる、行政期間の支援が受けやすい等が挙げられた。ネットワークでは様々な加工品を製造販売しており年間100万円を



世羅町での行政視察

超える売り上げの加工品が燻製卵、世羅茶、ソフトクリーム、餅、漬物、ジャム等15品目を超えている。その中でランニングウォーターという梨を使った清涼飲料水があり世羅高等学校と共同で開発され年間10万本を売り上げている。研修の中で加工品の製造販売で成果をあげるこ

とができた理由のひとつに手間暇をかけること、手間暇をかければかけるほど成果はあがり必ず評価されるという説明があり印象に残っている。

神山町でも、すだちサイダー



ジェラート工房ドナ



ランニングウォーター

などの加工品に力をいれているが世羅町と比較するとまだまだ6次産業化は遅れているのではないかと感じる。今回の研修で学んだことを今後の参考として出来る限り取り入れ生かしていきたい。

(五島準介)

祝！新成人

神山町成人式（1月2日）



- 1月 2日 神山町成人式
- 5日 消防出初め式
- 4日 勝名地区監査委員連絡協議会定期総会
- 7日 神山町議会臨時会
- 12日 市町村トップセミナー
- 14日 県町村監査委員協議会定期総会
- 21日 勝名地区議会議員研修会
- 28日 県町村議会議長会定期総会

議会の動き



編集後記

あけましておめでとうございます。

元旦早々から徳島新聞に、幸せここに神山の挑戦というタイトルで毎日のように出ています。

年始のご挨拶に後藤町長、相原議長、私と、栗飯原局長の4名で県庁、市役所等30ヶ所以上廻って開口一番、話題に上るのは、神山のNPO法人大南理事長の話題が生まれて、神山は今脚光を浴びていますという話から入っていきました。

今回初めての編集後記を担当させていただきましたことになりましたが、今後共皆様方のご意見をおまちしています。

編集委員一同、努力をしてみりますので、より一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（高橋 和男）

表紙記事紹介

えびすまつり（腰之宮神社）
 神領宇大埜地の腰之宮神社に祀られている「えびす」は七福神の一柱であり、日本古来の福の神として親しまれている。古くから大埜地区でも祀られているが、村おこしを目的に平成19年から、1月10日をえびすまつりとし、お接待や福俵・だるま・クマデの販売を始め、200人余りの参拝者で賑わうようになった。



参拝者で賑わう「えびすまつり」